

オプトアウト文書

西暦 2017 年 10 月 20 日

「心理的バイタルサイン (Psychological vital sign: PVS) を用いた看護学校生活ストレスセルフチェックシステム (PVS システム) の実施要領策定に関する研究」に参加される対象者および保護者の方へ (臨床研究に関する情報)

三重中央医療センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究では、看護学生が自分自身の心理的状況を多角的に把握し、自らのストレスコーピングを可能にすること、およびその結果を学生の同意のもとに教員が共有することによって心理的なサポートが実施できることを目的としています。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号) の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 心理的バイタルサイン (Psychological vital sign: PVS) を用いた看護学校生活ストレスセルフチェックシステム (PVS システム) の実施要領策定に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 三重中央医療センター 院長 霜坂 辰一

[研究責任者名・所属] 三重中央医療センター附属三重中央看護学校 教員 武岡 良展

[研究の目的] 本研究では、厚生労働省の「心理的な負担の程度を把握するための検査及び面接指導の実施並びに面接指導結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針」(平成 27 年 4 月 15 日心理的な負担の程度を把握するための検査等指針公示第 1 号) 等に基づき、心理的バイタルサイン (Psychological vital sign: PVS) を用いた看護学校生活ストレスセルフチェックシステム (PVS システム) の運用方法及びその結果に基づく面接指導の実施等に係る方法を確定し、もって看護学生が自分自身の心理的状況を多角的に把握し、自らのストレスコーピングを可能にすること、およびその結果を学生の同意のもとに教員が共有することによって心理的なサポートが実施できることを目的とする。

[研究の方法]

1. 対象

入学時に学生および保護者に「心理的バイタルサイン (Psychological vital sign: PVS) を用いた看護学校生活ストレスセルフチェックの説明文」を用いて説明し、その PVS システムを用いた検査に同意した学生

2. 利用する情報

PVS 検査結果 等

3. PVS 検査実施頻度及び実施時期

原則として年 1 回、5 月～6 月上旬に定期に実施

4. 研究期間

研究を行う期間は、倫理審査委員会承認日より 2020 年 3 月 31 日まで

5. 共同研究機関

該当なし

オプトアウト文書

6. 個人情報の管理について

本研究の対象となる方に情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。

また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化管理などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、個人を特定できる情報は一切含まれません。

7. 医学・看護学上の貢献

本研究に参加することによる研究対象者個人への直接的な利益は生じない。研究の成果は、将来の看護学生の退学や看護職者の離職防止に有益となる可能性がある。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の研究対象者となった方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。

本研究は、研究責任者が所属する臨床研究部の研究資金で実施する。また、本研究の研究者は、「三重中央医療センターにおける臨床研究に係る利益相反マネジメントに関する規約」に従って、臨床研究利益相反委員会に必要事項を申告し、その審査と承認を得るものとする。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5

三重中央医療センター附属三重中央看護学校 教員 武岡 良展

TEL: 059-259-1211